

十一月十九日にもしお天気がよかったら部分月食を観測しましょう。（安全に気をつけてあったかくしてね。）

この日の満月が欠けはじめるのは京都の場合は午後四時四十五分です。まだ地平線の下で見えません。のぼった時点ですでに欠けています。午後六時過ぎには最大に欠けます。その後だんだんに影の部分は少なくなっていく、午後七時四十分ごろには元の満月にもどるそうです。

そもそもお月様が明るく輝いて見えるのは太陽が照らしているからですね。ところが照らしている間に地球がはいってしまふとその部分は明るくなるわけです。すっぽりとかくれると皆既月食という名前になりますが、少しでも残っていると部分月食ということになります。

これに似たことは太陽でも起こります。太陽と地球の間を月が通るときに、です。太陽がすべてかくれてしまうのを皆既日食といい、部分的にかくれるのを部分日食と呼んでいます。

日本の神話の中には天照大神あまてらす おおみかみという太陽の女神さまが弟である須佐之男命すさの の みのみことのやんちゃぶりに怒って、天岩戸に隠れるという話が出てきます。世の中が真っ暗になってしまい、困った神様たちが相談して、天岩戸の前で楽しそうにパーティーをします。天鈿女あまのうずめがダンスをして、みんなで大騒ぎをするのです。誘い出し作戦です。不思議に思った天照大神がすき間をあけて外をのぞいた時、すき間から手を入れて力持ちの天之手力男神あまの たぢから おのかみが天照大神を引っ張り出したので世の中は元通りに明るくなった、と。この話は古代日本に皆既日食があったことを表しているといえますよ。おもしろいでしょう？

音読サイン↓

① 何の話ですか？

② お月様が明るいわけはなんですか？

③ 完全に暗くなる月食を何と呼びますか？

④ 太陽が月の影に部分的にかくれるのを何と呼びますか？

⑤ 神話ではなぜ天之手力男神が引っ張り出す役目をしたのでしょうか？

⑥ あっているものに○をつけましょう。

（ ） すっぽりかくれるのを怪奇月食という。

（ ） 天照大神は月の女神だ。

（ ） 神話ではダンスをしたのは天鈿女だ。

⑦ なぜ世の中が真っ暗になったのに神様たちは楽しそうにふるまったのでしょうか？

⑧ 天照大神が天岩戸に入った話は古代のどんな事実を表しているのでしょうか？

⑨ 神話では天照大神の弟のやんちゃ坊主の名前はなんといいますか？（八坂神社の神様です。）

⑩ 上の話の感想を五行でまとめましょう。

できればは？

